

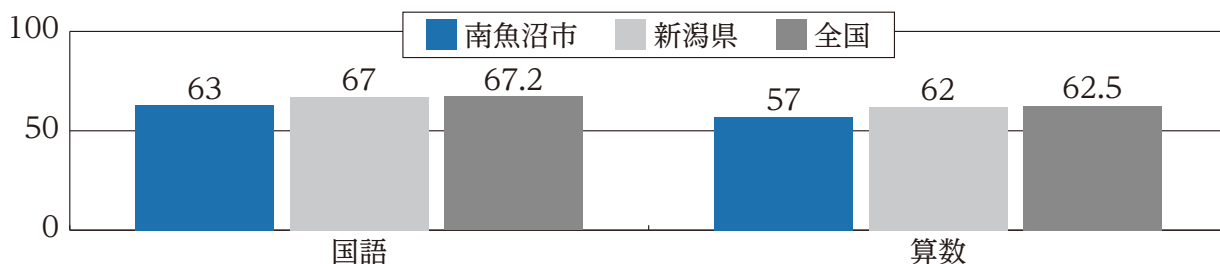
令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

【問合せ】学校教育課 ☎773・6700

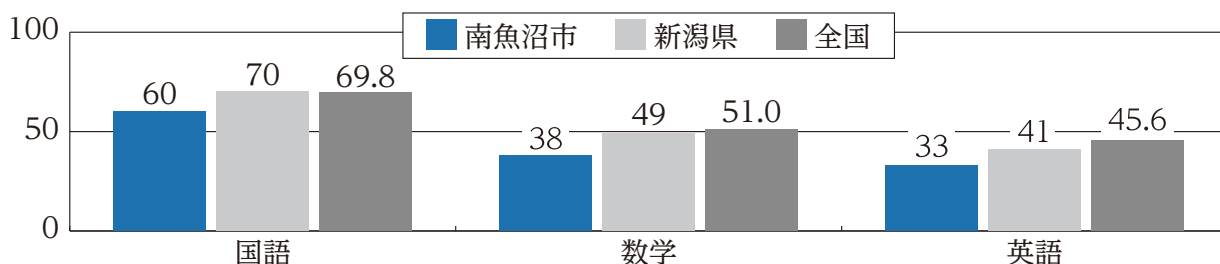
4月18日(火)に全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査として小学生は2教科、中学生は3教科で実施されました。平均正答率と学習状況などの傾向を全国・県と比較した結果をお知らせします。

1 全国・県の平均正答率との比較

小学6年生の平均正答率



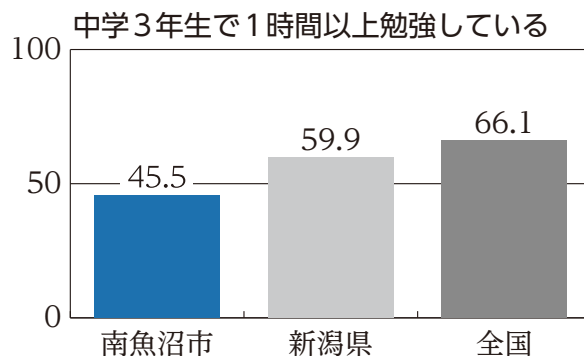
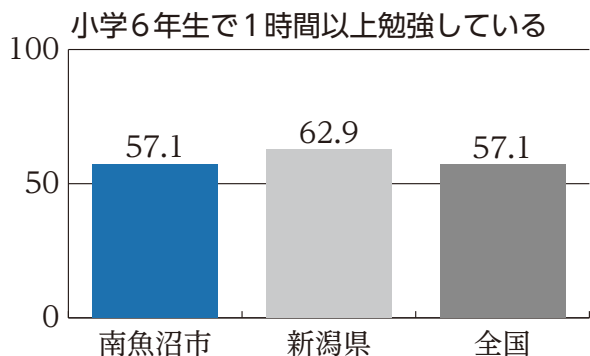
中学3年生の平均正答率



小学6年生、中学3年生ともすべての教科で全国、県の平均正答率を下回りました。教科を問わず共通している課題は「文を正しく理解すること」「式やグラフの意味を正確にとらえること」「自分の考えを適切に表現すること」です。内容を理解し、自分の考えをしっかりと持つために、「読む力」は重要です。各学校では学力向上に向け、「読む力」を大切にされた授業改善を進めています。

2 生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査の結果から

月～金曜日、学校の授業以外に1日当たりどれくらい勉強しますか（塾などを含む）



市では「学年×10分」以上の家庭学習を推奨しています。小学6年生は60分、中学3年生は90分と考えると、家庭での学習時間が不足しています。まずは、決められた時間に一定の学習時間を確保し、日々継続することが重要です。家庭学習が習慣化し、宿題がなくても子どもが主体的に自主学習を進めることができるよう、家庭でも声かけをお願いします。